

合併促進協議会だより (最終)

県域 J A 組成に向けた合併協議の休止について

J Aグループ愛媛の経営資源（ヒト・モノ・カネ・情報）を結集・再配分することで、人口減少や地域農業の構造変化など、単一 J A では対応しきれない課題を結集した力で打破しようと、第39回 J A 愛媛県大会で「県 1 J A 構想の実現」を決議しました。

当初は県下11 J A による検討組織の設置をめざしていましたが、松山市内の 2 J A が参画を見送ったことから、9 J A で合併促進協議会(以下、「協議会」という)を立ち上げ、県 1 J A の礎となる「県域 J A」に向けて協議を重ねてきました。

県域 J A 合併に向けた協議をすすめるなか、参画 9 J A うち、3 J A が脱退したことから、今後の合併協議の方向性について検討した結果、これ以上の協議継続は困難と判断し、協議会を「休止」することとなりました。

合併目標期日を確認し、具体的な協議を進めようとしていた矢先のできごとであり、合併に希望を見出し、応援して下さった農家組合員・役職員の皆さまの思いに十分応えることができなかったことに、深くお詫び申し上げます。

協議会としての活動は休止となりますが、J Aグループ愛媛では第39回 J A 愛媛県大会で「将来の県 1 J A 構想の実現」をめざすことを決議しており、今後も引き続き必要な組織整備(合併含む)を進めつつ、経営健全性を確保しながら地域農業の発展に貢献し続けていきます。

【協議会事務局より】

組合員また J A 役職員の皆様におかれましては、それぞれの立場で、真摯に合併協議に参画いただくとともに、貴重なご意見をお寄せいただいたことに深く感謝します。

これまで協議会で検討してきた事業・組織・情報戦略については、合併の有無にかかわらず、各 J A にとって必要不可欠な施策であるとともに喫緊の課題であると認識しています。

協議会の休止により、我々合併事務局員も出身 J A 等に帰任しますが、それぞれの立場で「将来の県 1 J A 構想の実現」に向け、J A 事業改革に邁進しますので、変わらぬご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

合併協議の歩み

【HISTORY】

- 平成30年12月 ● 第37回 J A 愛媛県大会
大会実践期間(R元～ R3)にて組織整備の研究をすすめることを決議
- 令和3年12月 ● 第38回 J A 愛媛県大会
組織整備の取り組みをすすめるため「県1 J A 構想」の策定を決議
- 令和6年12月 ● 第39回 J A 愛媛県大会
令和9年4月以降の早い段階での県1 J A 構想の実現をめざし、組織整備をすすめていくことを決議
- 令和7年3月 — (2 J A 参画見送り)
理事会・経営管理委員会での組織協議を踏まえ、2 J A が「時期尚早」として協議会への参画を見送った。
- 令和7年6月 ● **合併促進協議会設立**
県1 J A の礎として9 J A による県域 J A の組成をめざすことを確認
- 1月26日 ● 第6回協議会
合併目標期日を確認し、具体的な検討を進めることを確認
- 1月末 — (1 J A 脱退)
これまでの検討状況や組合員・職員の意見等を踏まえ、総合的に判断した結果、協議会からの「脱退」を理事会で決議
- 2月20日 ● 第7回(臨時)協議会
1 J A の脱退を受け、協議会を臨時開催し、今後の対応方向を協議
その結果、各 J A 理事会等において、「8 J A での県域合併協議の継続」につき組織協議を行ったうえ次回協議会で結果報告することを確認
- 3月9日 ● 第8回(臨時)協議会 (2 J A 脱退)
各 J A 理事会等での組織協議結果を確認した結果、2 J A が「8 J A での県域合併協議の継続は困難」として協議会からの脱退を表明
- 3月16日 ● 第9回協議会
県域 J A 合併を目的とする協議会では、これ以上の協議継続は困難であると判断し、**協議会を休止することを決定**

組織整備に向けた検討スタート



県1 J A 構想を作成することを決定



合併協議を本格的にスタート



引続き県1 J A 構想の実現に向けて再スタート



ご意見・ご要望

県1 J A 構想にかかるご意見・ご要望は下記QRコードより引き続き、募集しています。

